

令和6年度 南陽市学校・家庭・地域の連携協働推進事業 意向調査アンケート結果

調査対象：市内小中学校9校

回答者：各校の教頭先生

回答率：100%

1. 地域学校協働活動推進員及びボランティアの支援により教員の負担軽減を5段階で判定するとどの程度感じる事ができたか。

⇒7割の学校から負担軽減を感じたと回答を得た。

2. 地域学校協働活動に取り組まれて良かったことを教えてください。

- ・推進員には地域の方々を学校にお呼びしての活動にご尽力いただいた。
- ・地域のことを詳しく教えてもらうことができた。
- ・生徒が、地域の方々とともに活動させていただくことによって、学びが広がったり深まったりしたことです。
- ・学習や活動への協力、安全みまもりの連携により、教職員の負担軽減が図られた。また、学校の教育活動に対する理解者と支援者が増えたと感じる。特に、郷土愛の醸成を図り、地域貢献を目指して行う生活科・総合的な学習では、教職員が安心して児童を活動に向かわせることができる素地となった。
- ・地域学校協働活動の中心としてネットワーク事業を活用することにより、地域と学校の取組に一体感が生まれ、教員の負担軽減にもつながりました。
- ・本校の教育活動における環境整備については、教員のみでは時間的にも難しい面があるため、大変感謝している。特に、本校の図書館経営については、環境整備や蔵書の管理や整理作業などを定期的実施していただいた。学習の支援活動としては、花壇の整備をしてくださる方や家庭科の学習でミシンを使う際に支援を行ってくださる方を推進員から「ミシンボランティア」として募って実施していただいた他、今年から新しい行事として設定したわらび採りにおいてもたくさんの方に支援活動をしていただいた。
- ・今年度も、職場体験学習の引受先の企業を多く開拓していただき、生徒の体験学習を支えていただいた。
- ・花壇の花植えや、校内を彩る素晴らしい装飾掲示物を季節に合わせて作成していただき、あたたかな学習環境づくりを率先して行っていただいた。

- ・校内の見守りサポートでは、学校の要望に合わせて人員を配置頂き、大きな支援を得ている。また、読みがたりや図書整備等でも教員の手がなかなか行き届かない点をカバーして頂いている。

3. 次年度以降の課題や要望事項など、自由にお書きください。

- ・地域学校協働活動推進員の継続配置
- ・学校運営協議会とも一体的推進（より実効性にあるものに進めたい。）
- ・地域学校協働活動推進委員の情報交換の場で、貴重な表情報が得られたと聞いているので、今後とも、そのような場を確保していただきたい。
- ・地域学校協働活動推進員の勤務（日数・時間）を増やしていただくことで、ネットワーク事業をより一層円滑に活用できると考えております。
- ・次年度も引き続きお願いしたいと思っております。教育活動の充実のために、常勤等、勤務日数を増やしていただくことを切望いたします。
- ・子どもたちのために気づいたところを率先して行っていただき、ご尽力いただきました。来年度も配置をよろしく願いいたします。
- ・今後のスタッフの確保をどう進めるか、学校単独ではなく、学校間の連携も含めて考えていく必要があると思います。